

平成26年度
受賞

「ふるさとの味・かーちゃんの味」つたえよ一会

～ 小値賀町の「地産地消・食育」を進めよう ～

【受賞者の概要】

「ふるさとの味・かーちゃんの味」つたえよ一会

- ・所在地: 北松浦郡小値賀町笛吹郷2376番地
(小値賀町役場産業振興課内)
- ・創立時期: 平成16年
- ・会員数: 21名



【受賞時の活動・現在の活動】

平成16年7月に小値賀町の農協女性部、漁協女性部、商工会女性部、あい菜市(農産物直売所)、食生活改善推進員の5つの団体が構成する『「ふるさとの味・かーちゃんの味」つたえよ一会』を結成し、町内における「地産地消」と「食育」の推進に取り組んでいます。

地元の食材を活用した家庭料理教室等を通して、地元の食文化の伝承と普及、小中学生、高校生との交流を行うとともに、新たな料理等の開発、家庭料理のレシピ集『おぢかんものレシピ本』の編集・発行を行い、地元食材の消費拡大を促進しています。特に卒業後進学・就職で島を離れる高校3年生には、「これからもふるさとの食材の良さを大切にするとともに、バランスの良い食事を心がけてほしい」という思いを込めて、毎年1月に料理教室を実施し、その際に上記レシピ集を贈呈しています。

その他、年末には子供向けのクリスマス会を主催しており、地元製品のPRを目的に小値賀島の食材を使った料理をふるまっています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

新鮮な小値賀の食材をふんだんに使った『島の家庭料理』の提供はもとより、「安心・安全」な地元食材のPR活動などが町内での「地産地消」、「食育」の実践につながっているものと思っています。

【今後の展望(これからの夢)】

食育活動が叫ばれている今こそ、「郷土料理・家庭料理」を伝承していく必要性を強く感じます。特にこれからの担う子供たちのためにも、「安心・安全」をモットーに、心のこもった手作りの食品、地元農水産物の提供などを通じて、食育活動を続けていきたいと考えています。



さ ざ ち ょう
佐々町食生活改善推進連絡協議会

～ バランスの摂れた食事で介護予防につなげる ～

【受賞者の概要】

佐々町食生活改善推進連絡協議会

- ・所在地: 北松浦郡佐々町市場免23-1
(佐々町役場 健康相談センター内)
- ・創立時期: 昭和57年 ・会員数: 160名



【受賞時の活動・現在の活動】

佐々町の課題である「高血圧予防のための減塩活動の普及」として、家庭訪問による味噌汁の塩分濃度測定、各地区での講話や調理実習を通じて地域に根付いた減塩活動を推進。

その他、小・中学生を対象とした食の大切さの普及と調理実習、町内保育所での餅つき大会、中高年を対象とした「おとこ料理クラブ」等幅広いライフステージにおける食育の推進に取り組んでいます。

また、高齢者や障がい・介護の有無を問わず誰もが生涯現役の生きがいを感じられる活動の場として、昨年度開設された「佐々町元気カフェ」の連携支援団体として、献立作成から調理を実施し、人と人とのつながりの場を通じて支えあう地域づくりにも貢献しています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

長年にわたり様々な食に関する推進活動を実施することで、多くの町民に「食育」を普及することができました。

私達の活動で、「食」は身近な問題であることを意識し、食生活改善の一步を踏み出すきっかけづくりとなっていると思います。

【今後の展望(これからの夢)】

「佐々町元気カフェ」では、食生活改善推進員としての長年の経験を活かし、バランスの摂れた食事で、介護予防につながる活動にしていきたいです。

平成
20、28年度
受賞

い き な か JA 壱岐市青年部那賀支部

～ 「いきダッシュ村」プロジェクトによる食育活動 ～

【受賞者の概要】

JA 壱岐市青年部那賀支部

- ・所在地：壱岐市芦辺町国分東触679番地
(JA壱岐市営農センター内)
- ・創立時期：昭和40年 ・会員数：40名



【受賞時の活動・現在の活動】

「いきダッシュ村」というプロジェクト名で、児童への農業体験学習を主体とした食育活動を実施、5年間で540名の児童が参加しました。19年度にはこの活動に刺激を受けて、JA青年部10支部で児童への食育活動を行うようになり、壱岐島内の食育推進活動のリーダー的存在となって活動。この取組が、平成20年度食育推進活動表彰を受賞しました。

その後も農業についての学び・体験を目的として植付から収穫までの一連の農作業を、年間を通して児童に体験してもらい、さらに収穫した大豆を壱州豆腐(いしゅうどうふ)に加工し、それを使った料理「ひきとおし」の調理体験は壱岐の食文化の継承にも繋がっています。これらの取組が平成28年度食育推進活動表彰を受賞しました。

今では、島外の小中学生も対象としたグリーン・ツーリズムの受入れも始まり、また、取組当初に参加した小学生が成長して青年部活動に参加するなど地域の取組として根付いてきています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

継続的な活動を通じて、地域を思い・農業を愛する子どもたちの情操が確実に育まれていることを実感しています。

「大きくなったら青年部に入って活動したい」という子どもたちが、高校卒業後には地元に残って青年部活動に参加してくれており、農業について「教えられる側から教える側へ」の伝統ができ、那賀地域全体の活性化にも繋がっていると思います。

【今後の展望(これからの夢)】

「継続は力なり」の言葉の通り、これからの子ども達にも農業の大切さや、「教えられる側から教える側へ」の伝統を継続していけるよう、日々の活動をまい進していきます。